

# 平成 30 年度事業計画

## 1. はじめに

今年度は、昨年度の社会福祉法の一部改正に伴い理事会・評議員会機能の充実を図り、社会福祉協議会運営の透明性や使命を認識しながら事業執行し、また、地域福祉活動計画は3年目を迎え、推進評価委員会の提言を踏まえ着実な事業運営をしていく必要があります。

一方、南足柄市行財政はますます厳しさを増し、社会福祉協議会への補助金等への支援も大変厳しい状況であり、今後ますます厳しさが増大し組織運営方法を検討していかなければなりません。

このような中で、岡本地区地域包括支援センターは、今年度新たに行政から継続委託され、今後ますます増大する高齢者問題また複合的な福祉問題に対しても対応し、さらに、りんどう会館の管理運営の受託は、今年度で終了することから契約の継続に向け努力していかなければなりません。

このような状況の中で、1年目を迎えた「おたがいさまネットおかもと」は地域の住民相互の助け合い活動が着実に行われており、社会福祉協議会としても自立した組織運営の支援をし、さらに、その活動が全市に展開するようにしてまいります。また、活動の住民周知活動として改編したホームページやSNSを活用して、タイムリーに報告しながら住民にアピールし、会費や共同募金の財源確保の一助としていきます。また、介護保険事業については、介護職員の確保やサービスの質の向上を図り事業収益を図ってまいります。あんしんセンターは、住民の生活の基盤を支える事業として、関係機関と連携をして住民に寄り添いながら事業を実施するとともに、足柄上地区との連携を視野に活動をしてまいります。人材育成として、各種研修会への参加や内部研修を行い、職員の質の向上に努めてまいります。

最後に、活動を実施するにあたり、社会福祉協議会事業運営の再編成をするとともに、地域福祉活動を地域住民、関係機関団体、諸施設、企業、行政と協働し着実に進めてまいります。

## 2. 基本理念

**「支え合い、ともに生き、元気に暮らせるまち、南足柄」**

## 3. 基本目標

- (1)地域活動を支える担い手づくり
- (2)支援が必要な人を支える地域づくり
- (3)適切な支援につなげる体制づくり
- (4)安全・安心に暮らせる地域づくり

#### 4、重点項目

- (1)南足柄地区における自立支援事業の推進
- (2)りんどう会館の継続受託
- (3)「おたがいさまネットおかもと」への継続支援

#### 5、主な事業内容

##### (1) 地域活動を支える担い手づくり

地域住民が支え合い、ともに暮らせる地域づくりをしていくため、地域での生活課題を捉えるために地域課題の診断をし、課題解決に向けた支援ができるようにするための担い手を育成・開拓してまいります。

##### **車いす探検隊 (39,000円)**

小学生が複数のコースを車いすで移動し、コンビニ等での購入体験をしながら、市内を散策し参加者の体験発表し、地域の課題等を学習する。

##### **ボラえもん学習会(車いす探検隊ボランティア養成講座) (10,000円)**

車いす探検隊への参加者をサポートするためのボランティアの養成講座(ボラえもん)を開催。

##### **福祉教育支援事業**

各小中学校へボランティアさんが出向き、児童生徒がボランティア活動体験をサポート。

##### **ボランティア養成講座の開講 (30,000円)**

しゃぼんだまサポートボランティアや手話、傾聴ボランティア等技術ボランティアの育成のために開催。

##### **おやじの料理教室 (59,000円)**

退職された男性の方を対象に、料理作成をとおした仲間づくりと居場所づくりを創出。

##### **親子お菓子福祉教室 (32,000円)**

身体障害者福祉協会女性部の協力のもと親子でクッキーづくりをしながらノーマライゼーションを体験。

##### **認知症家族の集い (8,000円)**

包括支援センターが開催する認知症家族の集いに、認知症の方をサポートするボランティアさんの調整等実施。

##### **ふれあい出前講座**

地域福祉会や自治会、老人クラブ等が福祉研修を開催する場合の補助として講座メニューの中から選択し、その内容に沿って関係団体と協力しながら、社協職員等が地域に出向き講座を開催。

##### **地域福祉活動機材の貸出**

地域住民相互のふれあい活動への一助として、イベント機材(ポップコーン、鉄板、かき氷等)を貸出。

## 地域福祉助成事業

(1,010,000円)

地域福祉活動への支援として、社協会員数により各地域福祉会(34自治会)へ活動助成金を支援。

### (2) 支援が必要な人を支える地域づくり

地域での生活課題解決に向け、地域内の困りごとを他機関等に結びつけ、必要なサービスを創出し地域福祉を推進してまいります。

#### 岡本地区地域包括支援センターの受託

(24,608,000円)

岡本地区の高齢者の相談支援として地域包括支援センターを受託運営。

#### 地域福祉会への支援

(20,000円)

地域福祉会が行うサロン活動の開設支援や継続支援の実施。花づくりや世代間交流等、地域の特色を生かした福祉活動を支援。

#### 岡本地区生活支援活動への支援

独居高齢者等が身近な地域で自立した生活が送れるように支援するための組織「おたがいさまネットおかもと」の活動を支援。

#### 新たな生活支援活動の組織化支援

南足柄地区内においてお互いに助け合う活動の組織化を図る。

### (3) 適切な支援につなげる体制づくり

多様な福祉問題に対応するため、さまざまな関係機関等や広域的な取り組みを行い、地域内の困りごとを解決する仕組みを創ってまいります。

#### 福祉当事者団体及び福祉関係団体への助成・支援

(262,000円)

身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、老人クラブ連合会、自治会長連絡協議会、民生児童委員協議会、ボランティア協会及びボランティアグループ等へ活動への支援及び助成金等を交付。

#### ホームページ、広報紙等の発行

(1,151,000円)

社会福祉協議会の事業状況や活動状況を掲載し地域福祉活動を周知・PR。

#### 社会福祉大会の開催

(238,000円)

地域福祉活動にご尽力された方々や団体へ褒賞し、市民福祉の啓発を図る。

#### 広域連携の推進

足柄上地区社会福祉協議会連絡会(1市5町)を開催し、各種研修会の開催や事業連携、情報の共有を図る。

#### 行政との連携

福祉健康部の定例会や各種委員会への参加、市民活動フォーラム事業の共催など行政と協働して地域福祉を推進。

#### 福祉関係団体、企業との連携

自治会長連絡協議会や民生児童委員協議会、地域福祉会、老人クラブ連合会、商工会等と連携を図り地域福祉を推進。また、企業等と連携した事業を模索。

## 公益事業の実施

( 82,197,000円)

訪問介護事業、居宅介護事業(ケアマネ)の運営。

## 組織運営

理事会、評議員会の開催、外部監査の実施。

## 人材育成、研修会への参加

人材育成を図るための内部の研究会を設置。また、専門性を高めるため各種研修会へ参加。

## 地域福祉活動計画推進評価委員会の開催

( 77,000円)

社会福祉協議会地域福祉活動計画が着実に実施されているか点検評価し、また活動の修正を提言する委員会を開催。

## ( 4 ) 安全・安心に暮らせる地域づくり

地域の中で安全で安心して暮らすことができるために、行政や関係団体等と協働し誰もが地域で自立した生活ができるように支援してまいります。

## ハンディキャプ事業の実施

( 5,577,000円)

寝たきりや車いすの方を病院等への移動を支援。

## あんしんセンター事業の推進

( 7,740,000円)

地域で自立した生活支援として財産の管理や福祉サービスの手続等支援するため、成年後見事業や日常生活自立支援事業を実施。

## ネットワーク連絡会

足柄上地区の福祉関係機関、福祉施設、行政、社協、弁護士、司法書士等が一堂に会し、福祉事例を通しネットワークの構築を図る。

## 災害ボランティア養成講座の開催

( 17,000円)

登録されている災害ボランティアや新たに関心があり参加される方を対象に自己研さんを図るための講座を開設。

## 被災地支援

被災された地域の物産を販売し被災された地域への支援活動を実施。

## おはようサービス事業の実施

( 12,000円)

人との交流が苦手な方や聴覚障害者等を対象に毎朝メールや電話、FAXなどで安否確認し社会的孤立を防止。

## 生活困窮者への支援

( 1,092,000円)

一時的に生活が困窮した世帯等に対し行政と連携し生活費や食料等を援助。

## 交通遺児、被災世帯への援護

( 340,000円)

交通遺児へ進級時期に支援金を交付。火災等被災された世帯に見舞金を支給。

## 福祉用具貸出事業

( 41,000円)

介護度が認定されていない方へ認定されるまでの期間車いす等を貸出。